



ぜんこうもくひょう

全校目標

『GROW UP!』

～みんなとそだてるココカラの木

Q4、ご家庭で「こころと身体」に関する話（性の話を含む）について難しいと感じることはどんなところですか？



第 10 号に続いて、アンケート結果をお知らせします。



小学部

プライベートゾーンの洗い方を教えても自分でできなかつたり、しなかつたりでどうすれば定着するのか・理解が難しいので（複数）・会話ができないので（複数）
 知的発達と身体発達のバランスがとれていないため（複数）・複雑なことがわからないのでやっていたい事と悪い事をどう理解してもらえないか不安
 どこまで理解できているのかわからない（複数）・変に誤解されないように気を付けないといけないと考えている（複数）・生理が来たらどう伝えればよいか
 いつから話せばよいかわからない（YouTubeなどで言葉は知っている）・本人に自覚がなく、嫌なものと思っているので言葉選びが難しい
 ヘアカットも嫌がる子が髭剃りなどできるようになるのか？どのように教えていけばよいのか？・どのように伝えればよいかわからない（複数）
 まだ男女の区別もつかないのでそのような話をしようとも思わない・伝えることで逆に興味を持たせてしまうのではないかと気になる
 恥ずかしがらずに包み隠さず伝える事が難しい

中学部

理解できるかどうか（複数）・本人から直接話を聞けない（複数）・異性との交流や距離感について・異性の親なので話づらい（複数）
 携帯などから情報を得て、言葉だけを知っているようなので変に興味を持たないように教えるのに言葉を選びながら伝えている
 知的障害があるのでどのような伝え方がよいのか（複数）・メディアなどで取り上げられるネタ話と現実の違いがわかっていない事
 コンドームのつけ方等父親が教える方がよいが言いづらそう・異性の親ではサポートに限界があるので家庭内での理解や協力が大きい
 成長によって変わったところもあれば、そうでないところもありバラつきがある中でどのように伝えたらよいかタイミングは早い方がよいのか
 恥ずかしいという気持ちがない・きっかけがないと話題にしにくい・話だけでは具体的にできないとわかりにくい

高等部

本人の理解が困難な為伝えるのが難しい（複数）・身体の事より、心の話をする方が難しい・家族の言う事を素直に聞いてくれない・男女の関係についてなど
 異性の親では理解できていないことが多く、上手く伝えられない（複数）・言葉が話せないで全てが難しい・どんな話をしてもよいかわからない（複数）
 どのように話してよいかわからない（複数）・性の話は、聞くのを嫌がる人が多い・正しく理解できるか不安（複数）
 本人があまり興味がないしそういう話をしたがる先生が授業でするから聞くのだと思う
 親子でも性処理については同性でも遠慮してしまうので家庭では教えられていない。学年の同性の先生には伝えているし本人にもそうするように伝えている
 どこまで理解できているか興味があるのか等がわからないのでどのレベルを話してよいかわからない
 どこまで踏み込めばよいのか話さなくてはいけないことと言わなくてもよい事があるのではないかと区別しながら話していく事
 本人がよくわかっていないので今は不用意に情報を提供しないようにしている
 その場ではわかっているように振舞っていても実際の場面で正しく行動できるか不安

そうですね。本当に悩んでしまいます。親自身が誰かから教わった経験もないですし、かといって教科書があるわけでもない。何が正解で、何が不正解なのか？また、どこまで伝えるべきかそうでないのか？等、迷いはつきません。特に、年齢が上がると親の話を素直に聞かない等伝えにくさが増えるようです。そうした時はやはり学校で授業として伝えるなど他者の協力が必須ですね。

性に関する指導の土台部分については 10 号でも触れましたが、それ以外にも、「性被害」や「性加害」についても考えていかなければなりません。その為にも、アンテナを高くし、なおかついくつも張り巡らせておかなければなりません。そうすることで、未然防止できることは少なくないのではないのでしょうか？





現代では、何事も「情報を制すものが全てを制す」といっても言い過ぎでは無いほど情報に大きな価値があります。と同時に、情報は自分で取りいかなければ中々与えてもらう事ができません。例えば、性被害についてどのくらいご存知でしょうか？少年の関わる犯罪の傾向や、その内の性犯罪は？実際に性被害の可能性がある場合どこに相談すればよいのか？など。実は警察庁のサイトなどに情報が出ています。また、性被害のきっかけとして注目されているSNS関連の情報は政府広報オンラインにも情報があります。他にも、「公」では内閣府「ネット危険から子どもを守るために」、総務省「インターネットトラブル事例集」、法務省「法務省だよりあかれんが vol.47」などにも多くの情報があります。性被害者にも、加害者にも絶対しない！という強い思いで私たちも積極的に情報を取っていきたくですね。

知識や情報の大切さとしては他にも、望まない妊娠をした高校生等のインタビューから知識不足や誤情報がそれに拍車をかけているという事がわかります。また、近年では職場におけるセクシュアル・ハラスメントの背景に女性の体の仕組み等についての知識不足があるという事で、男性も生理を知ろうという動きが出てきています。

ココカラ学習の取り組みの中でも時折、先生方の悩みとして「年齢的にもココカラ学習をもう少し進めたいけれど男女の違いが分からないようなので難しい」と聞くことがあります。しかし、男女の区別等を理解できていなくても、他人にはいけない事や気を付けるべきことで男女に共通していることはたくさんあります。具体的には、プライベートゾーンは「見せない・触らない・触らせない」といわれますが、相手が同性でも異性でも同じです。また、「声をかけられてもついていけない」ということも、これも相手の性は関係ありません。もちろん子どもの性も関係ありません。人との距離感もそうです。こうしたことは、男女の区別がはっきりとわかっていない段階でも教えていく事ができると思います。



男女交際やひいては性行為、妊娠については、親もひっそりと知ってきたので子どももそれなりに情報を得て知っているだろうと本人任せにしていると、巷にあふれる誤った情報を鵜呑みにして、どのような性交渉でも妊娠の可能性があるとあたり前の事がわからなくなってしまったり、早すぎる性行為や望まない妊娠等で困っていても、これまで親とはそうした話をしてきていない為、恥ずかしくてSOSが出せない等、教えてこなかったり、語られてこなかったことの弊害がはっきりと出ています。ですので、小さなころから何でも話せる関係作りや、心と身体の事は馬鹿にしたりはぐらかしたりせずに、いつでも真剣に対応するという大人の態度が子どもを助けるという事につながると思います。

他にも、性行為については、同意する・しないという事もありますが、同時に「さみしいから」「注目してほしいから」「反打ちに自慢したいから」などの理由も背景にあるということを忘れてはいけません。大人の私たちでも承認欲求のコントロールは難しく、良くも悪くも人を突き動かしてしまいます。そういうことはずっと先だからというのではなく、その手段に至る中に、さみしい心の声や認めてほしいという気持ちが内在する可能性を理解し、正しい方法でしっかりと向き合っていくべきではないでしょうか。それを始めるのに早すぎるという事はないのです。

保護者の悩みの多くに「本人の理解の難しさ」が上がっています。他の教科指導同様、適切な学習テーマを設定し、体験的学びを設定し、かつ繰り返し学習を続けていくという点はココカラ学習も同じだと思います。家庭でも、いきなり難しい知識を教えるという事にこだわらず、10号でも触れたように基本的な事を丁寧に積み重ねていく事が重要だと考えています。具体的には、自身の身近な処理をできるだけ自分で行えるよう小さな内から練習しておくことなどです。特に便の始末や入浴等はプライベートな事です。将来生理の処置等にも関係してきます。勿論、支援してもらおう事を後ろめたさを感じる必要はありませんが、自分でできることが増えるほどに自信が付き、うれしい気持ちになれるはずで、特に高学年以降は異性の親ではトイレも入浴も手伝うのが厳しくなってきます。



しかし、やっぱり教えるのが難しいという事はたくさんあると思います。ですので、悩みや困りごとは一人で抱えず担任や養護教諭にいつでもご相談ください。また、保護者同士でも「ココカラあるある」を分かち合える機会を、今後皆様のお知恵をお借りしながら検討していきたいと思っています。

Q5、学校と連携する中で「ココカラ学習」などで取り上げてほしいことはどんなことですか？

小学部

生理のこと・基本的な事・脇毛やひげなどの処理・排尿（おもらし）と射精の感覚の違い・「死ぬ」ということ・異性との付き合い方（距離の取り方や関わり方）自分も他人も大切にするという事・パーソナルスペースや異性との関わり方・どんなことが恥ずかしい事なのか・心身の変化・自分の身を守ること・生命誕生性の話を一通教えた後にはLGBTQなどに関すること（今後の時代に必要と思う）・ココカラ学習とは何かわかるように伝えてほしい

中学部

異性との接し方・性の話（複数）・大阪の言葉でわかりやすく話してもらえると耳に入っていくやすいかも（カジュアルすぎず）イライラした時、反抗したい気持ちの時の過ごし方・ココカラ学習に取り組む中で、先生等が意識することで見えてきた子どもの変化等教えてほしい父親は横のつながりが作りにくいので「お父さんの集い」等みんなで新たな知識を得たり知らないことは恥ではないという事を実感できる場所があるとよい

人格やこだわりを大切にしながらも、社会に出ていくために必要な要素を考えた話し合ったりしてほしい・命や心を守る方法・男女の違い
 社会に出て差別やいじめ、孤立してしまった時と対処法などを性について具体的に教えてほしい・人の距離・親切とはどういうことか
 相手に対して大切にすることや傷つけない事・自分の思い通りにならないのは当たり前だという事・社会である性の危険から自分を守る方法や嫌だ止めてという事
 他人をジロジロ見ないや異性にむやみに触らない等、世間では暗黙の了解があることをあえて取り上げて教えてほしい・自分の気持ちのコントロールの仕方
 朝、着替えた後は汚さないようにする等も教えてほしい・性的被害にあわないための方法等人間関係について

多くのご提案があり、中にはめから鱗のものもあり、さすが！と思うものばかりで大変参考になりました。中でも、「お父さんの集い（仮）」
 は個人的にとっても良いと思います。本校では男子の割合が多く、大きくなるほど異性である母親ではわかってあげられないことが増えます。
 実際に保護者のお声の中にも、そういった悩みを多く聞きます。しかし実際、いざ出番！と言う時には反抗期で素直に耳を傾けることが
 難しかったりと、本当は助けたい、力になりたいと思っているのに、そんな気持ちとは裏腹に、ついお小言を言ってしまって親子喧嘩・・・
 なんてことも少なくないのではないのでしょうか？そうした時、「お父さんの集い（仮）」ならぬ男同士で語れる場があれば、きっと心強いのでは
 ないでしょうか。



Q6、ご家庭へ情報提供してほしい内容（例：書籍やサイト、講演会情報など）がありましたらお書きください。

子どもが性について興味を持ち始めたとき、親がすべきことを具体的に・生理に関して先輩の話を知りたい・書籍・重度の障害児の性の本があれば読みたい
 重度の子どもでもわかりやすい教育の進め方や事例等・知的障害の子ども向けに思春期にどんな問題が起こるかまたどう解決したか知りたい
 親が死んだあと、本人が幸せに暮らせる方法を知りたい・子どものレベルに応じた具体的な伝え方・家庭における低学年からの性教育の取り組み方
 講演会などの情報・些細な事でもよいので、理解が難しい子どもに対して何から伝えていくべきなのか、また伝え方も教えてほしい
 オムツがとれていない段階で生理が来た場合どのように対応するのか、またどのように見通しを持っていったらよいのか具体的な情報やとりくみの工夫等知りたい
 重度の知的障害児への性教育の経験談や情報がほしい
 性に関することで親がどう対処すれば良いかを教えてほしい発達障害者に対する性教育について書籍があれば読みたい

みんなで作るココカラの木



ご協力ありがとうございました！
 保護者の皆様からの手形は関係機関のご協力も合わせて
 300以上に上りました！
 あたかなメッセージ、力強いメッセージ、心なむイラスト等、様々に趣向を凝らしたみんなの手形、本当にありがとうございました。
 小学部は大地をしっかりと掴んだ根を表現し、中学部は大きな木を支える太い幹を表現しています。高等部は皆様の
 手形で溢れる大空にしっかりと手を伸ばしています。
 学校にお立ち寄りの際は、是非中高部生徒玄関へお越し
 ください。

